

日本ソフトボール協会終身審判員-2014

佐野幸夫さん（80）がこのほど、ソフトボール競技の発展に尽くした功績が認められ、日本ソフトボール協会から「終身審判員」の称号を受けました。この終身審判員は、ソフトボールの公認審判員として1種（全国レベルの大会を審判できる）の資格を持ち、すでに30年以上審判員として尽力された65歳以上の方で、なおかつ日本ソフトボール協会をはじめとして各地域のソフトボール協会に大きな功績のある方に限り与えられるもので、全国でも毎年数名程度しか該当者がいないという名誉ある称号です。佐野さんは、昭和48年にソフトボールの審判員（3種）の資格を取得して以降、いくつもの試合を経験しながら、昭和52年2種、昭和57年1種と上位の審判資格を取得。審判歴41年目にしてこの名誉ある称号を手に入れました。